

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	Toybox		
○保護者評価実施期間	2025/11/15	～	2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025/11/15	～	2026/1/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/15		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内(外)にスペースがある事で沢山体を動かす機会を提供できる面。□	・他職種で連携をとりながら環境をうまく活用して活動に展開できている。□	・屋外で、より活動を満喫できるよう環境整備を行いながらご利用者様方が安心安全に活動ができるようにする。
2	・LINEで活動報告ができる面。支援で何をしているのか見える化できる面。□	・支援をして終わりではなく、ご自宅に安全に送り届ける・保護者にしっかり活動報告をするまでが支援だと思っている。しかし、お会いすることができない時にLINEを活用し支援の様子を伝えることを徹底して、保護者様が安心して様子を知る機会を仕組み化できている。□	・LINEを送って終わりではなく、定期的に面談等を実施して日々の支援を直接お伝えする機会を作る。
3	・他職種が在籍する事業所。特性に対してどのようなアプローチができるかスタッフ間で話を密にできる面。□	・計画書の作成や、日々の記録をデータ管理する事で情報のアップデートがしやすい仕組みを作っている事。特性や日々の様子を計画書に落とし込み、より良い支援をスタッフ全員で考える機会ができています。□	・AIアプリを導入し、効率化を図り子どもたち・保護者様の為(支援)に時間を要したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内(外)が広い分、怪我やヒヤリハット案件が起きてしまう。□	・自己選択、自己決定を大切にしている為子どもたちからの提案は話し合いで決定している。急に外で活動したいとなった際に安全確認をその場で実施する事もある為、怪我が起きるかもしれないと人数配置を多めに設定し防ぐ事がある。子どもたちが突発的な行動をした際に目を離さない手を後ろで組まない等、いつでも駆けつけ園送迎が基本の形で保護者様にお会いする機会が少ない。	・毎月、事業所内(外)の安全確認を実施しているが、必要に応じて多めに設定する。(草抜き・防草シートを貼る)(玩具の破損が無い)  ・日々の会議の中でヒヤリハット案件や、言葉掛けが適切だったか確認する機会を仕組み化する
2	・面談をする機会が少ない。直接お会いする機会が少ない。スタッフの名前と顔の一致ができない。		・必要に応じて面談をする機会を作り、密に情報交換ができる体制を作る。支援の様子を話、家庭での様子を聞く事で支援に反映できる事もあるので、密に計画実施し、イベント等でもご家族を巻き込んでいく。
3			

## 公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Toybox
------	--------

公表日 R8年 2月23日

利用児童数 20人

回収数 18人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18				・十分なくらい広々しています ・室内では走ったりして楽しそうです ・広々としたスペースで思い切り体	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		4	・1対1も多く満足している様子です ・職員の方の異動があると思いますが、ラインで活動報告を頂く際、名字だけ書かれていて誰か分からないがよくあります。インスタでもいいので職員紹介等があると安心かなと思います。子供は先生の下の名前を言うので苗字と一致しません	・LINEでの活動報告の際については、フルネームを検討してみます。 ・Instagramをいつも確認して下さりありがとうございます。スタッフ紹介を常にバージョンアップできる取り組みを検討してみます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく快適化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				1	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				2	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2			3	・同じ年の子どもより大人の人のほうが好きな傾向にあります
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	1		2	・研修会等あったら参加してみたいです ・イベントを計画した際は、お声がけ致します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1				・園送迎で働く親としてはとてもありがたい反面、先生方と直接お話しする機会は少なく、ラインでは共通理解が完全ではないと感じます ・なかなかお会いする機会が無いので、保護者様が立ち寄りやすいイベントや面談等を実施して直接お話しする機会を作ってみます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	2			・とても話しやすいです ・相談事業所が設定して下さる園との情報共有会議等はありませんが、個別の面談等はありません
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				1	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	3	6	・兄弟はおりません ・されているかもしれませんが存じ上げません	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2			・ラインだからか、うまく伝わっていないと感じる事や、職員間で情報共有されていないと感じる事がある	・ご意見ありがとうございます。情報共有がしっかりできるよう情報共有ノートを作成し漏れが無いようにします
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1			・ラインで毎回報告してくれとても助かっています ・インスタは見えています	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		4	・食物アレルギーのある子が他の子の水筒を口にしてしまった時は、すぐに連絡が欲しかったです ・まだ事故等がありません ・これまで事故等がないのでわかりません	ご心配をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。同じ事がないように、名前の確認・スタッフがその場に必ず居る状況・同じ水筒にはマークをつける対策をしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				・活動の中で様々な学びがあり、社会性や考える力が育まれ自信につながってきていると感じます。いつもありがとうございます	

## 公表 業所における自己評価結果

事業所名	Toybox		公表日	R8年 2月23日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・主任・センター長が確認実施	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・イラスト、色テープで構造化	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日決められた時間に、清掃を行う	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・崩れた時に落ち着く部屋（個別）の関わりでクールダウンを実施	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・毎日の経過記録で使用している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・イベント実施	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・朝礼、昼礼でミーティングを行なっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・実施していないが、今後検討している
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・スキルアップ研修・合同研修等、毎月様々な研修を設けている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページに公開している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・作成月にバタバタしないように見直しを持って計画・作成ができています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・子どもが真ん中の支援を常に意識し「第二の居場所でありたい」指針を常に言語化できるようにミーティングの中でも言葉にしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画の際に全員で共有（回覧）で見落としが無いようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・バイナランド・JSI・SM社会生活能力検査	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・個別支援計画に入れ込み保護者に同意を頂き支援に反映できている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	必要に応じて個人個人の判断もある。スピード感持って取り組む際もある	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・遊びファイルがある事で続けて活動にならないよう仕組み化できている。必要に応じて連続で活動の時もある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・毎日、朝礼昼礼で行なっている。 ・必要に応じてミーティングをする機会を作り支援に反	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・業務改善や、その日の気づき・ヒヤリハットを共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・PDCAサイクルを活用し、必要に応じて目標の見直しを行なっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・目標決めを実施実施	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・担当者会議等で医療関係者が入る事もある。必要に応じて役職者が参加している	・モニタリングに行っていないスタッフが行けない時は書面にてまとめる仕組みを作る。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・移行支援シートの作成を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	・霧島市のグループ会議で連携を行なっている	・もっと、外部との連携を図れるようにしたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・ご利用児童の兄弟児が来所の時は一緒に活動する時もある	・今後検討している
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・LINEで報告を実施	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・イベントで親同士で話す機会を作っている	・家族支援の充実を図れる仕組み化。年間スケジュールに落とし込む。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・イベント実施	・年間スケジュールに落とし込む。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・Instagramにて発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・契約時に話をしている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・地域との関わりはイベント時に行なっている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・毎年2回避難訓練を実施、BCP訓練を実施	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・契約時にしている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・毎月玩具の点検・部屋の見回りを実施し安全且つ居心地の良い場所であるか確認	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止委員会・感染対策委員会を設置している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2			